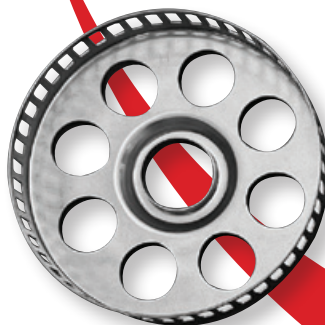
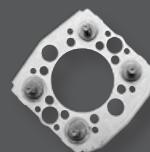




第71期 中間報告書

2023年3月期

2022.4.1 ▶ 2022.9.30





代表取締役社長 柴崎 衛



もっといい車を作ろうとしている人に
もっといい部品をお届けします

**車づくりに欠かせない
会社を目指して**

平素は当社の事業経営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、各国、各地域における一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息を心より祈念いたします。

当上半期の世界経済は、持ち直しの動きも見られたものの、前期から続く半導体及びその他部品の供給不足や上海ロックダウンの影響に加え、ウクライナをめぐる国際情勢の悪化等により、原材料費、資源・エネルギー価格の値上がりや海上輸送費の高騰も収束には時間を要する見込みで、依然として不安定な情勢が続いております。

当社グループの事業分野であります自動車業界におきましては、半導体及びその他部品の供給不足を主因とした生産調整や生産停止が継続しており、日系自動車メーカーのグローバル生産台数は、前年を下回る実績となりました。

このような状況下、当社グループでは事業基盤の強化と経費削減等による経営効率化に取り組んでまいりまし

たが、連結売上高は海外での円安に伴う為替換算によるプラス影響があったものの、国内での半導体及びその他部品の供給不足等による自動車メーカー各社の生産調整の影響が大きく、前年同期比減収となりました。連結営業利益についても、国内での売上減少、原材料価格の値上がりや高値圏にある海上輸送費等の影響が大きく、前年同期比減益となりました。

今後の経営環境は不透明な状況が続くことが予想されますが、当社グループの全役職員は、今年度よりスタートした「中期経営計画～Mission2025～」の実現に向け、上記「ミッション・ステートメント」を胸に、お取引先様のより良い車づくりに貢献する“無くてはならないサプライヤー”となるため、一丸となって取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも尚一層のご指導とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

2022年12月



連結財務ハイライト

Consolidated Financial Highlight

連結売上高

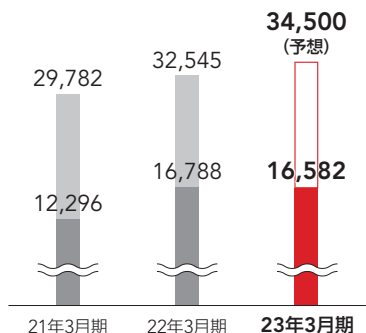
16,582

百万円

前年同期比:1.2%減

□通期 ■中間

単位:百万円



連結営業利益

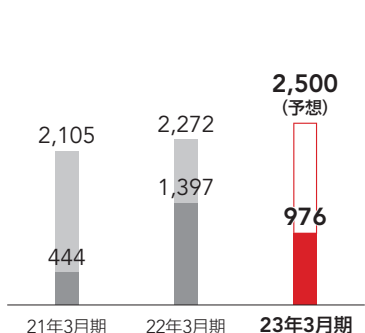
976

百万円

前年同期比:30.1%減

□通期 ■中間

単位:百万円



連結経常利益

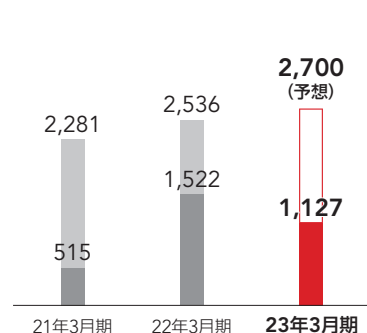
1,127

百万円

前年同期比:25.9%減

□通期 ■中間

単位:百万円



連結親会社株主に帰属する四半期純利益

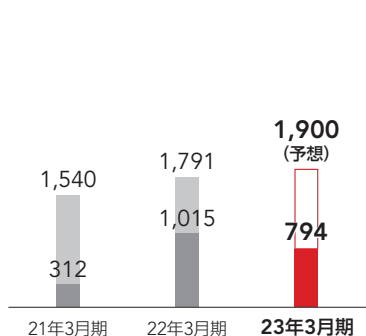
794

百万円

前年同期比:21.8%減

□通期 ■中間

単位:百万円



1株当たり四半期純利益

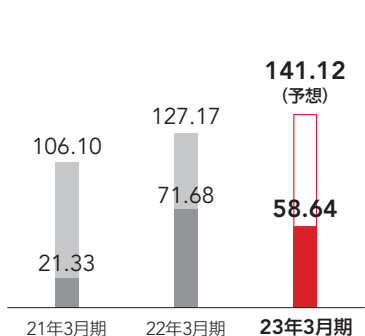
58.64

円

前年同期比:18.2%減

□通期 ■中間

単位:円



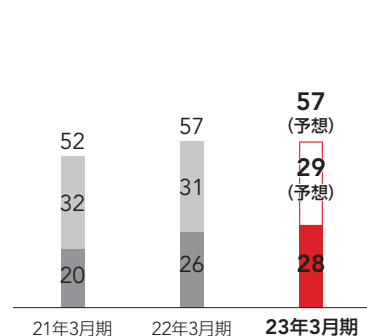
1株当たり配当金(中間)

28

円

□通期 ■中間

単位:円





連結財務諸表の要旨

Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第2四半期末 2022年9月30日	前期末 2022年3月31日
資産の部		
流動資産	34,831	34,600
固定資産	9,313	8,751
資産合計	44,145	43,352
負債の部		
流動負債	7,170	9,147
固定負債	778	756
負債合計	7,948	9,903
純資産の部		
株主資本	31,243	31,267
その他の包括利益累計額	4,516	1,793
非支配株主持分	436	388
純資産合計	36,196	33,448
負債純資産合計	44,145	43,352

連結損益計算書

(単位:百万円)

	当第2四半期 累計期間 自 2022年4月 1 日 至 2022年9月30日	前第2四半期 累計期間 自 2021年4月 1 日 至 2021年9月30日
売上高	16,582	16,788
売上原価	12,749	12,730
売上総利益	3,833	4,058
販売費及び一般管理費	2,856	2,660
営業利益	976	1,397
営業外収益	159	159
営業外費用	8	34
経常利益	1,127	1,522
特別利益	0	1
特別損失	0	53
税金等調整前四半期純利益	1,127	1,471
法人税等	321	441
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	13
親会社株主に帰属する 四半期純利益	794	1,015

中間配当金について

2022年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主の皆様に対し次のとおり中間配当金をお支払いします。

1. 中間配当金

1株につき28円

2. 支払い開始日

2022年12月5日(月)

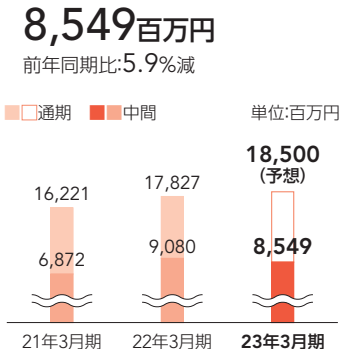


地域別売上高

Sales by Geographical Segment

日本の売上高

半導体不足と東南アジア及び中国からの部品供給の停滞等による乗用車メーカーの生産調整と、主要得意先である商用車メーカーの減産の影響が大きく、売上高は85億4千9百万円(前年同期比5.9%減)となりました。



米州の売上高

世界的な半導体の供給不足が主要得意先メーカーの生産に影響を与えてはいるものの、新規受注品の寄与や円安に伴う為替換算の影響により、売上高は36億2百万円(前年同期比5.5%増)となりました。



中国の売上高

世界的な半導体の供給不足と上海ロックダウンによる主要得意先メーカーの生産調整の影響が大きく、売上高は23億5千2百万円(前年同期比7.4%減)となりました。



アセアンの売上高

主要得意先の生産回復と新規受注品の寄与により、売上高は14億6千2百万円(前年同期比16.4%増)となりました。

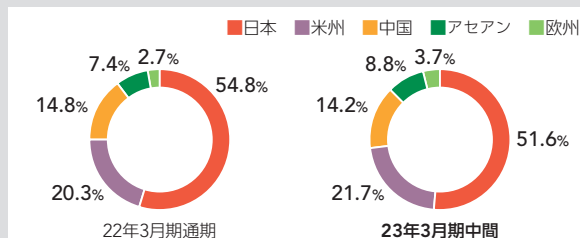


欧州の売上高

世界的な半導体の供給不足が主要得意先メーカーの生産に影響を与えてはいるものの、新規受注品の寄与や円安に伴う為替換算の影響により、売上高は6億1千6百万円(前年同期比24.3%増)となりました。



地域別売上高構成比



TOPICS ①

圧入プロジェクション接合技術(当社独自技術)の更なる進化に向けて、「大型直流インバーター溶接機」の新規導入をいたしました。

今までの圧入プロジェクション接合では、手のひらに収まる位の小さなサイズの部品しか接合が出来ませんでした。

しかし、今回のこの大型溶接機の導入により、更に大型で高強度を要求される駆動伝達系部品領域等への展開が可能となります。

自動車の電動化が進み、お客様のニーズが多様化してくる中、当社独自技術である圧入プロジェクション接合技術を進化させることにより、更に強みを作り、お客様に喜んでいただける様な「もっといい部品」をお届けしてまいります。

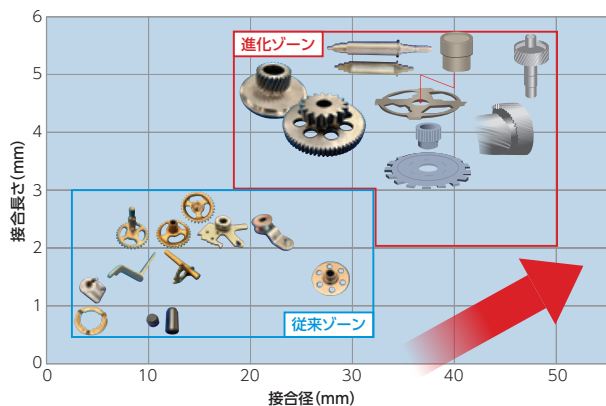
また、この新規設備は従来の溶接機と比較して2倍以上の溶接能力を有していながら、使用エネルギーは従来の溶接機の約70%に抑えられるため、CO2排出量削減にも大きく寄与出来ると考えています。



「進化」より大きく!より強く!

大きなサイズの高強度部品の製造が可能

圧入プロジェクション接合技術対応マップ



新任社外取締役紹介

2021年6月の第69期定時株主総会、2022年6月の第70期定時株主総会にて選任された2名の社外取締役をご紹介します。



独立社外取締役 沖山 奉子 *Tomoko Okiyama*

略歴

1975年 10月	東亜建設工業株式会社入社
2013年 4月	同社 執行役員 建築事業本部副本部長 兼 ウェルフェア営業部長
2020年 6月	株式会社マツモトキヨシホールディングス(現株式会社マツキヨココカラ&カンパニー) 社外取締役(現任)
2021年 6月	当社 社外取締役(現任)

ご挨拶

昨年6月の株主総会で監査等委員である取締役に選任されました沖山でございます。私自身は、長年建設業界に身を置いていたため、製造業については専門家ではありませんが、違った目線で経営を見ることが期待されていると考え、この任を引受けました。

自動車業界を取巻く環境は、テクノロジー進化(AI、IoT、IoTなど)やEV車へのシフト加速、空を飛べる車の登場等々、激動の時代を迎えております。その中で、社外取締役の役割であるステークホルダーの立場に立って、会社の持続的な成長に向けて助言を行うことが出来るよう努力したいと思っております。

独立社外取締役 山田 仁美 *Hitomi Yamada*

略歴

1984年 4月	TDK株式会社入社
2007年 7月	山田仁美公認会計士事務所開設 現在に至る
2020年 6月	株式会社オーテック 社外取締役(現任)
2022年 6月	当社 社外取締役(現任)

ご挨拶

本年6月の株主総会で監査等委員である取締役に選任されました山田でございます。

昨今の社会情勢は不確実性が増し、働き方も多様化する中で、経営は変化への対応が求められております。私は事業会社の経理業務を経て公認会計士の資格を取得し、主に監査の仕事に携わってまいりました。これまでの経験を活かし監査の実効性を高めるとともに、現在の厳しい事業環境を皆様と一緒に乗り越えていけるよう職責を果たしていきたいと思っております。よろしくお願ひ申し上げます。





グローバル事業拠点

Network



OHASHI TECHNICA UK, LTD.
英国 **タインアンドウィア州**
ワシントン
自動車関連部品の販売



株式会社
オーハシテクニカ
東京都港区
自動車関連部品、情報通
信関連部品等の販売



オーハシ技研工業株式会社
愛知県東海市
自動車関連部品の製造・販売



株式会社
オーハシロジスティクス
東京都国立市
物流事業

持分法適用関連会社

株式会社テーケー
長野県上伊那郡
自動車関連部品の製造・販売

株式会社ナカキョウ
岐阜県各務原市
自動車関連部品の製造・販売



OHASHI TECHNICA U.S.A., INC.
米国 **オハイオ州サンパリー**
自動車関連部品の販売



OHASHI TECHNICA U.S.A. MANUFACTURING, INC.
米国 **オハイオ州サンパリー**
自動車関連部品の製造



OHASHI TECHNICA (THAILAND) CO., LTD.
タイ国 **サムットプラカーン**
自動車関連部品の製造・販売

中国
台湾
タイ



台湾大橋精密股份
有限公司
台湾高雄
自動車関連部品の調達、販売



OHASHI TECHNICA MEXICO, S.A. DE C.V.
メキシコ国 **グアナフアト州シラオ**
自動車関連部品の販売



OHASHI SATO (THAILAND) CO., LTD.
タイ国 **プラチンプリ**
自動車関連部品の製造



大橋精密件(上海)
有限公司
中国 **上海市**
自動車関連部品の販売



大橋精密件製造(広州)
有限公司
中国 **広州市**
自動車関連部品の製造



広州大中精密件
有限公司
中国 **広州市**
自動車関連部品の製造・販売



大橋精密電子(上海)
有限公司
中国 **上海市**
情報通信関連部品、
自動車関連部品等の製造・販売



企業情報 (2022年9月30日現在)

Corporate Data

会社概要

社名	株式会社オーハシテクニカ OHASHI TECHNICA, INC.
本社	〒105-0001 東京都港区虎ノ門四丁目3番13号 ヒューリック神谷町ビル10階
設立	1953年(昭和28年)3月12日
資本金	18億2,567万円
従業員数	グループ合計 743名
連結子会社	国内2社、海外11社
持分法適用関連会社	国内2社
主な事業内容	①自動車関連部品等の製造・販売、 及び加工技術開発 ②物流業務並びに輸出入業務

取締役

代表取締役社長	柴崎 衛
常務取締役	古性 雅人
取締役	中村 佳二
取締役	廣瀬 正也
取締役(監査等委員)	伊田 和浩
社外取締役(監査等委員)	三好 徹
社外取締役(監査等委員)	沖山 奉子
社外取締役(監査等委員)	山田 仁美

執行役員

執行役員	堀 正人
執行役員	正木 聖二
執行役員	立岩 光

株式情報

株式数及び株主数

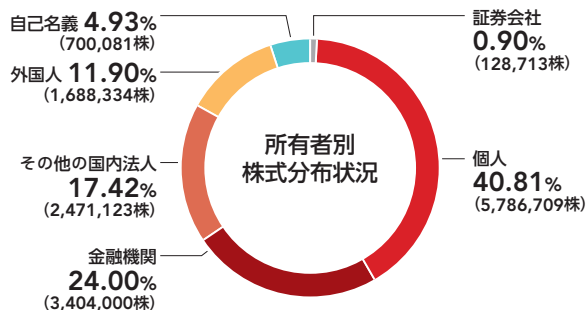
発行可能株式総数	64,000,000株
発行済株式総数	14,178,960株
株主数	11,503名

大株主

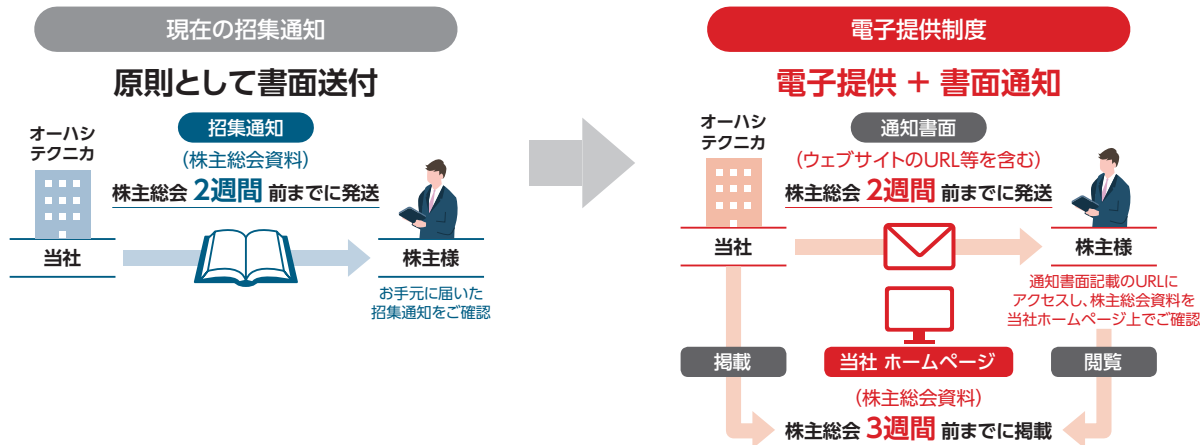
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
オーハシテクニカ取引先持株会	1,330,700	9.87
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,117,700	8.29
株式会社みずほ銀行	673,600	4.99
日本生命保険相互会社	660,000	4.89
いちごトラスト・ピーティーイー・リミテッド	543,100	4.02
明治安田生命保険相互会社	340,000	2.52
株式会社佐賀鉄工所	305,600	2.26
阪村産業株式会社	300,000	2.22
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	276,400	2.05
株式会社日新	270,000	2.00

(注)当社は自己株式700,081株を保有しております。また、持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



株主総会資料の電子提供制度のご案内



■ 電子提供制度について

株主総会資料の電子提供制度(以下「電子提供制度」といいます)とは、株主総会資料を自社のホームページ等のウェブサイトに掲載し、株主の皆様に対し、当該ウェブサイトのアドレス等を書面で通知する方法により、株主総会資料を提供することができる制度です。

「会社法の一部を改正する法律」の規定が2022年9月1日に施行され、すべての上場会社に対して適用されたことから、当社では、来年の株主総会から電子提供制度が適用されることとなります。今年の株主総会では、電子提供制度の導入に備えるため、当社定款の変更に関する議案につき、株主の皆様にご承認いただきました。

電子提供制度では、株主の皆様のお手元にはこれまでお送りしていた「定時株主総会招集ご通知」の一部のみをお届けし、全体についてはウェブサイトへアクセスしてご確認くださいこととなります。

■ 書面交付請求について

電子提供制度の導入後も書面による株主総会資料を希望される株主様につきましては、事前に書面交付請求のお手続きが必要となります。

お手続きの方法につきましては、三井住友信託銀行(株主名簿管理人)へお問い合わせください。なお、証券会社を通じてお取引の株主様は当該証券会社へお問い合わせください。

電子提供制度・書面交付請求に関するお問い合わせ

「三井住友信託銀行株式会社 証券代行部」

電子提供制度専用ダイヤル **0120-533-600** (受付時間：9:00～17:00(土・日・祝日および12/31～1/3を除く))

<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/kaisyahou>

受付期限は、株主総会の基準日までです。来年の株主総会資料について書面で受領を希望される株主様は、三井住友信託銀行にお申し出の場合は、2023年3月31日までに、証券会社にお申し出の場合は、当該証券会社の2023年3月最終営業日までにお手続きをお済ませください。



Lined area for writing notes, consisting of 18 horizontal lines.



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
基準日 定時株主総会・期末配当 中間配当	毎年3月31日 毎年9月30日
株主名簿管理人 (特別口座管理機関)	東京都千代田区 丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031 (フリーダイヤル)

公告方法	下記ホームページに掲載いたします。 https://www.ohashi.co.jp
住所変更、単元未満株式の 買取のお申出先について	株主様の口座のある証券会社にお申し 出ください。 なお、証券会社に口座がないため特別 口座が開設されました株主様は、特別 口座の口座管理機関である三井住友 信託銀行株式会社にお申し出ください。
未払配当金の 支払いについて	株主名簿管理人である三井住友信託 銀行株式会社にお申し出ください。

株主優待のご案内

当社では、株主の皆様へ感謝の意を示すとともに、長期的なご支援をいただけるよう、株主優待を実施しています。

100株以上保有の全株主様に、保有数に応じた枚数のおこめ券を年に2回お届けしています。

また、2008年からは長期保有優遇制度も導入いたしており、3年以上継続保有の株主様に対しては、更におこめ券を1枚追加進呈しております。



株主優待のご案内

100株以上	1枚
1,000株以上	3枚
10,000株以上	5枚
※3年以上継続保有の株主様に対しては、更にもう1枚を追加進呈いたしております。	
割当基準日	3月末日・9月末日
優待回数	年2回

株式会社オーハシテクニカ

〒105-0001 東京都港区虎ノ門四丁目3番13号
ヒューリック神谷町ビル10階

TEL.03-5404-4411(代)

IRに関してのお問い合わせ先: ir@ohashi.co.jp

<https://www.ohashi.co.jp>



UD FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

